

議会だより

あまがさ



大口町大好き
(関連記事P.16)

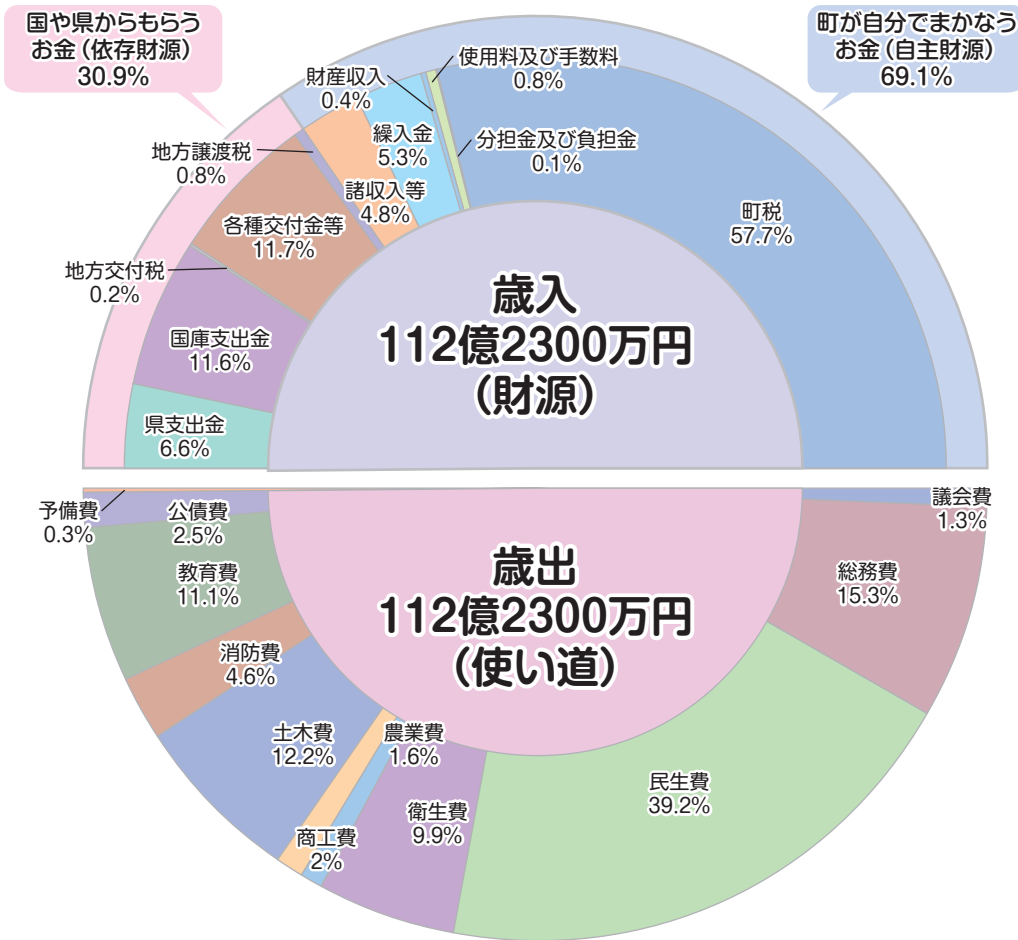


大口町議会
ホームページ

No.248

令和8年4月23日
発行：愛知県大口町議会

を力に」予算検証



議会は、令和8年度予算を可決しました。物価高やエネルギー価格高騰という厳しい状況の中にあっても、歳入は高い自主財源率を維持しています。

「町民が安心・安全に暮らせるのか」「未来への投資に繋がっているのか」そして、「町民の声が反映された予算となっているのか」。

議会として、しっかり検証していきます。

一般会計歳出予算の主な内訳と歳出総額に占める割合

衛生費 11億1336万円 前年比 6451万円 ↑

健康づくり、予防接種、検診や廃棄物処分等の費用など定期接種ワクチンの拡充や環境対策を進め、町民の健康と安心、持続可能な暮らしを支えるため、増額しています



民生費 44億440万円 前年比 3億9702万円 ↑

子育て支援、高齢者・母子・障がい者福祉等の費用など民生費の比率が高いことは、子育てや高齢者支援など、暮らしに直結する分野を大切にしていることを表しています



商工費 2億2814万円 前年比 4699万円 ↑

企業誘致、産業振興、観光振興、まちの魅力発信など町内事業者への支援や産業の活性化を通じて雇用を守り、地域経済の元気を育てる、活力あるまちづくりを支えます



土木費 13億7041万円 前年比 1億1249万円 ↓

道路・橋りょうの新設・改良、公園の整備・維持管理など対前年度比で減少していますが、主要道路整備や新たな橋の整備工事など、生活を支える投資は引き続き実施します



「町に安心を」「魅力

福祉の充実へ

子どもも高齢者も安心して暮らし続けることができるよう、生活支援等のサービスや包括的な支援を、切れ目なく提供できる体制づくりを進めます。

- 主な内容 移動支援（サポートカー）事業（210万円）
国民健康保険特定健康診査無償化（1646万円）
感染症等予防事業（1億3567万円）

議会はここに注目   

福祉施策の拡充と財政の持続性の両立を見極めていきます。



サポートカー事業

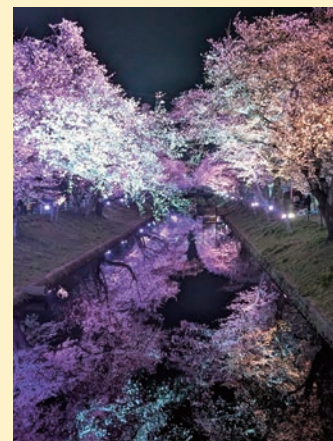
にぎわい創出を推進

五条川桜並木を他に負けない観光名所としてさらにPRするため、ムービングライトの演出を充実させ、近隣農地を菜の花畑にして桜とのコラボレーションを演出。さらに冬のイルミネーション事業で、春だけでない五条川の魅力向上を図ります。

- 主な内容 イルミネーション事業（663万円）
桜まつり事業（2073万円）
五条川遊覧船事業（298万円）
賑わい創出事業「にぎわい横丁」（595万円）

議会はここに注目   

持続的な観光資源としての充実が図られるか、注目していきます。



逆さ桜が見事なライトアップ

公共施設整備

地域の生活環境の充実や快適性の確保を目的として、公共施設の整備・維持管理を中心とした事業を計画・実施します。

- 主な内容 大口南保育園新築用地購入等（1億4040万円）
竹田集会所建設工事設計（475万円）
秋田学共外構改良等工事（3883万円）
役場南ひろば照明設置工事（700万円）

議会はここに注目   

老朽化する公共施設、建替えか長寿命化か、今後も行政の判断に注視していきます。



秋田学共

一般会計では、自主財源が70%近くを維持しています。今年度の財政運営をどう考えてみえますか？



先行きが見通せない社会情勢ですが、町民生活を支える施策と将来に向けた投資を両立させていきます。



令和8年度 当初予算総額（千円以下四捨五入 前年度比全て増額）

一般会計	112億3000万円	4億700万円	
特別会計	41億1860万円	9738万円	
下水道事業会計	12億4459万円	9573万円	
合計	165億9319万円	6億11万円	

■特別会計には、土地取得、国際交流、国民健康保険、後期高齢者医療介護保険、次世代育成事業の6特別会計があります

議案質疑・議案に対する討論

本会議及び総務建設・文教福祉
各常任委員会での内容です



町民のみなさんからの税金が適正かつ有効に使われるのかを問いました

条例制定・改正



全国町村会への職員派遣

問 本町職員を全国町村会に派遣することにより、どのような利点があると考えているか。

答 全国町村会への出向により、町村が抱える課題の共有を始め、国の施策決定過程に関する理解や知識を深めることができるなど、有益な経験を積むことが期待される。

問 派遣期間はどのくらいになるか。

答 全国町村会と締結する協定書によって、派遣期間は2年に定められる予定である。

こども誰でも通園制度



問 4月からの事業開始が迫っているが、受け入れ環境の整備状況や職員配置など、実施体制は整っているか。

答 当初の予定通り、北保育園の会議室を利用し、会計年度任用職員2名を配置して、1時間あたり3名の定員で、午前9時から午後3時まで実施する。

問 今後、利用状況や子育て世代のニーズなどを踏まえ、この事業をどのように発展させていく考えているか。

答 まずは北保育園での利用状況を見て、段階的に私立幼稚園にも声をかけていきたいと考えている。

児童クラブ



問 南児童クラブの定員を105人とする設定の根拠は。

答 過去の実績と人口推移を踏まえて設定した。

問 利用者105名を超える場合は、多目的室をクラブ室として35人分確保することができ、最大で140人まで利用可能になると考えている。

問 近年、町内の児童クラブの定員拡大が続いているが、支援員を確保していくために町としてどのように考えているか。

答 できれば、週5日働

また、今後南保育園の建て替えを進めていく中で、専用の部屋の設置や専用の保育士の配置も検討していきたい。

補正予算



くらし応援事業

務が可能な人をお願いしたいが、実際には確保が難しく、週3〜4日勤務できる人を組み合わせで対応している。

今後も支援に必要な人員を確保できるように努めていきたい。

の消費拡大も目的の一つと設定しているため、町内のみでの利用を考えている。

問 マイナンバーカードの公金受取口座を使った給付はできないか。

答 マイナンバーカードの公金受取口座を活用した給付は、他の市町からも国に対して質問をしているところであるが、現在において、明確な回答が得られていないのが現状である。

また、公金受取口座の利用には、予め事業登録・承認させる必要があるため、現時点では使えないという認識である。

問 「おおぐち応援券」は町内での利用に限られるとのことだが、物価高騰に対する支援が目的であるなら、利用範囲を町内に限定するべきではないのでは。

答 本事業は、長期化する物価高騰の影響に苦しむ町民の皆さんの暮らしの負担軽減を目的とするものである。

一方で、町内事業者へ

令和8年度 一般会計当初予算

総務費



問 本町が所有する公用車のうち、電動車比率はどのようになっているか。

答 本町所有の全41台の公用車のうち、ハイブリッド車が5台、電気自動車が1台、燃料自動車が1台となっている。率に換算すると、約17%の電動車比率となっている。

問 金婚表彰などの記念品には、どのようなものを予定しているか。

答 金婚表彰記念品は、犬山焼の夫婦湯呑を、自治功労者記念品として、2個1組のバッチととも、記念写真をケースに収めて贈呈している。

高齢者見守り事業



問 高齢者緊急一時保護事業とは、どのような内容のものか。

答 養護者の虐待またはその恐れにより、緊急保護が必要と判断される高齢者を、施設等に避難していただく措置を行う事業である。令和7年度は実施がなかったが、万が一に備えて毎年予算計上している。

問 個別避難計画作成支援について。社会福祉協議会に委託することであるが、委託によりどのようなメリットを見込んでいるのか。

答 社会福祉協議会には、福祉の専門家が多く在籍しており、その力を借りることは本町にとって大きな一歩になると考えている。

教育現場の実情は



問 保育士等人材紹介事業についての説明を。

また、今年の採用予定人数および、試用期間の返金保証についてはどうなっているか。

答 令和2年度から令和7年度までにおいて、12名を採用している。そのうち9名は現在も勤務をしており、人材確保に繋がっていると考えている。本年度は延長保育担当職員が足りないため、3名分の予算を計上している。

なお、試用期間中の退職については、採用後1か月以内で退職の場合は50%の返金となり、その後、3か月から6か月と経過するにつれて、10%から5%と減少していく形となっている。

問 非常勤特別職の教育人事として、参与を設置する経緯・背景は。

答 現教育長は、行政の立場において豊かな経験があるが、学校現場における勤務経験はない。

そこで、教育現場で豊富な経験をお持ちの方に一緒に本町の教育行政を支えていただくために設置を考えた。

具体的には、教育人事に関して、愛知県教育委員会や尾張教育事務所、また学校現場との緻密な調整をお任せする予定である。

農業担い手の確保は



問 農業担い手確保・経営強化支援事業補助金について。

地域計画の早期実現に向けて、中核となる農業の担い手が、地域農業の

維持発展に取り組みために必要な経費への助成とすることであるが、本町における中核となる農業の担い手とは、どのようなメンバーを想定しているのか。

答 本町が策定した地域計画のうち、目標地図に位置づけられた認定農業者であり、法人が6社、個人が8名の、合わせて14の担い手が対象となっている。

問 今回は、農業用機械導入に対する支援が主になるとのことだが、担い手人材の育成も必要と考える。そのための学びの場を、町で作ることはできないか。

答 現時点でそのような計画はないが、国の制度などを利用して、ゆくゆくはユニバーサルファーム大口をそのような研修機関の1つとして進めていくことができればと考えている。

地域のにぎわい創出



問 南地域の大型ショッピングセンターが5月末をもって閉店する。大口町の大きなにぎわいの場が1つ減ることとなるが、町としての考えは。

答 当該店舗は、南地域の皆さんの生活を支え、にぎわいを創出する重要な施設であったと捉えている。

この度の閉店により、今後、地域のにぎわいの場がなくならないために、同様な用途の施設に来てもらえるように、町として働きかけていきたいと考えている。

また、その間の地域の皆さんの買物手段確保のために、コミュニティバスの増発などを含めた検討をしていきたい。

議案名	山崎 卓美	佐名かよ子	酒井 一平	宮川 基英	飯田 正志	社本 與七	松本 佳子	江幡満世志	丹羽 勉	仙田 王一	藤田 敏英	鈴木 和江	江口 昌史	大竹 伸一	齊木 一三	結果
主な執行部提出議案																
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
大口町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
大口町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
大口町督促手数料の廃止に係る関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
大口町地域交通推進会議設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
大口町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和7年度大口町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和7年度大口町次世代育成事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和8年度大口町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和8年度大口町土地取得特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		同意

委員会及び議員提出議案

議案の提出

議案には、町長が提出するものと、議員が提出するもの、委員会が提出するものがあります。提出された議案は、本会議で内容や提案した理由について提出者から説明されます。

委員会提出議案第1号 大口町議会会議規則の一部改正について

【議案書要約】

議会に係る手続のオンライン化などを内容とする地方自治法の一部を改正する法律が成立したことを受け、現在の社会情勢に照らした文言の調整や規定ぶりの見直し等、所要の整備を行うもの。

詳細はこちら→



本委員会提出議案は、議員全員の賛成をもって可決しました。

○全会一致で可決・採決した議案など

3月定例会…人事案件(1件)、令和7年度一般会計補正予算(1件)、条例制定(2件)、条例改正(11件)、令和7年度特別会計補正予算(5件)、令和8年度一般会計(1件)、令和8年度特別会計(7件)、その他(4件)、委員会提出議案(1件)

3月臨時会…条例改正(4件)

請願・陳情 みなさんの声を慎重審議！ 議会の意思は

要望を町・県・国に伝える方法として「請願」「陳情」があります。みずからが町議会に提出し、これに対して議会は、採択・不採択等の意思表示をします。

●**請願** 今回、提出はありませんでした。

●**陳情** ※陳情は、議員の紹介は不要

号	内容	提出者	審査結果
1	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章	聞き置く
2	新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	自治体職員をハラスメントから守る愛知県民の会 代表 高木 健吉	聞き置く



説明します

みなさんからの請願・陳情は、本会議提出後、審査するため所管の委員会に付託・付したのち、請願は本会議で審議を、陳情は委員会協議会で審査をし、採決します。

結果

- ①採 択… 願意が妥当で実現性もあるなどの理由から、過半数の委員が判断したもの
- ②趣旨採択… 願意は理解できるが実現性に乏しいときなど、採択には至らないものの趣旨には賛同できること
- ③不 採 択… 願意どおり実現すべきものと過半数の委員が判断しなかったもの
- ④継続審査… 引き続き審査をする必要があると判断されるもの
- ⑤聞き置く… 聞いて心にとめるもの



上程する定例会	提出期限
令和8年 6月定例会	5月15日
令和8年 9月定例会	8月14日
令和8年 12月定例会	11月13日
令和9年 3月定例会	2月15日



請願・陳情の提出には締切日があります。ご希望される方は、提出期限をご確認の上、役場3階議会事務局へご提出ください。

☆請願・陳情 提出期限



請願・陳情の審査結果はこちらからご覧いただけます



大口町税条例の一部改正について

防衛費の増税となるため

反対 江幡満世志

大口町税条例の一部改正について、個人住民税関係において、復興特別所得税の課税期間の延長に対して住民の負担になる内容です。しかも仮称防衛特別所得税の創設であり、防衛予算をさらに増額するためのものです。国会での審議も十分とは思えません。地方自治体で反対しても撤回できるものではありませんが、住民の負担に対して、断固反対いたします。

上位法の改正のため

賛成 丹羽 勉

今回の改正は、上位法である法律の改正に基づくものであり、適切な対応であると思いますので賛成するものであります。

豆知識

日本の法体系は、憲法↓法律↓政令↓省令といった優先順位があります。条例は、地方自治体が定める規範で、政令などと同様、法律の範囲内のみで決めることができます。





町政を問う

7議員が質問

大口町
ホームページ
「一般質問」



YouTube
チャンネル名
「大口町議会」



一般質問とは、町政全般にわたる議員主導による政策の議論です。各議員の質問は、YouTube動画でご視聴いただけます。

議員名(通告順)	質問事項	ページ
仙田 王一	1.町道小口線について	8
鈴木 和江	1.生活保護制度について 2.スマホの使い方を気軽に聞ける窓口の設置を	9
江口 昌史	1.役所業務でのAI活用について 2.小中学校におけるAI活用について	
社本 與七	1.大口中学校部活動の現状と今後について 2.大口中学校体育館の今後について 3.町道豊田22号線一部区間の整備について	10
佐名かよ子	1.子どもを連れて安心して外出できる環境づくりについて 2.身寄りのない高齢者等の包括支援について	
江幡満世志	1.町立小中学校の修学旅行を無償に 2.地域包括支援センターを直営に 3.愛北市場前の県道に横断歩道を 4.町道小口線の延長で若宮江南線までの間の拡幅を	11
宮川 基英	1.不燃物集積場のあり方は	

町道小口線

計画の進捗と樋田橋の対応は
部長 財政健全化を保ち効果的に進める

仙田 令和5年8月28日、下小口三丁目交差点から樋田橋北側までの区間が供用開始されたが、その後の延伸の状況は。

建設部長 樋田橋南側交差
通処理を信号機によらな
いラウンドアバウト交差
点とし、また南側接続の
大口桑田線の幅員変更と
する都市計画道路の路線
線形変更の手続きまでは
終了した。

仙田 樋田橋南側の用
地買収状況と工事着手の
予定は。

建設部長 現在、町道内
津々線等の整備事業に注
力しており、その事業に
目途がついたら小口線整
備を再開する予定。また
町道内津々線の用地の取
得が順調に進み、かつ、

補助金も確保できた場合、
最短で令和14年度完成見
込みである。

仙田 下小口三丁目交
差点から町道役場前線ま
での区間の沿線土地所有
者へのアンケート、その
後の状況は。

まちづくり部長 市街化
調整区域内において住宅
や小規模店舗を建築可能
にする区域指定を、都市
計画法第34条第11号の区
域指定という手法により、
町道小口線沿いの土地を
有効活用できないか調査・
研究を進めたが、この区
域指定は、農用地を除外
する基準を満たす事業計
画とは認められないと愛
知県から示され、「断念
する」との判断に至った。

仙田 樋田橋北側より

の進入車両のスピードに
対する安全面から、早期
ラウンドアバウト交差点
対応やその他の対応は。



せん だ きみ かす
仙田王一 議員



YouTube
動画

R8.03定例会一般質問(仙田議員)

生活保護制度

本町の受給者保護率の現状は

部長 保護率は、0・30である



すずき かずえ
鈴木和江 議員

鈴木 本町の受給者の数及び世帯数の過去5年間の推移を問う。人口100人当たりの受給者の数を示す「保護率」の現状・年齢層も教えてほしい。

健康福祉部長 令和7年10月現在の受給者数は71人65世帯。令和3年10月が74人63世帯なので、この5年間は、ほぼ横ばいで推移している。年齢層は、比較的高齢者が多い。現状で保護率は、0・30で愛知県は0・57である。

鈴木 本町の保護率が国や県と比べて低いのは、相談に行けなくて困っている人がいるのではないかと。

鈴木 生活保護の申請にはどのようなものが必要で、どのようにして申請までたどり着いたらよいか。

健康福祉部長 通帳、マ

イナ保険証・年金手帳、電気・水道・ガス・電話等料金の領収書、借家の賃貸契約書、現金及びその他収支に関するものが分かるのが必要となる。相談に至る経緯は、地域の民生委員など様々な方に相談に聞いていただいているが、まずは長寿ふくし課窓口相談を。

鈴木 本町の保護率が国や県と比べて低いのは、相談に行けなくて困っている人がいるのではないかと。

健康福祉部長 「保護率」などは、各市町の状況や年齢構成などにより大きく異なってくるため、数字を比較し判断するものではないと考える。

鈴木 別居の親が高齢

健康福祉部長 通帳、マ

行政と学校のAI活用の現状

業務でのAI活用の取組みは

副町長 段階的導入と安全対策の推進



えぐちまさし
江口昌史 議員

江口 役場業務について、生成AIをどのように活用していくのか。

副町長 昨年度トライアルを実施し、文書の要約やデータ処理などで有効性が確認できたため、令和7年度から予算を計上し活用を進めている。現在は一部部署で利用を開始しており、今後は順次庁内へ展開していく。

生成AIは文書作成の補助や情報整理などに活用することで、職員の業務負担の軽減や業務効率化につながる可能性があるかと考えている。

江口 AIの活用にあたっては安全対策が重要

健康福祉部長 通帳、マ

であるが、個人情報の保護や誤情報への対応は。

副町長 国のガイドラインを参考にしながら、町独自の運用ルールやガイドラインの整備を検討していく。

AIは利便性が高い一方で、誤情報が生成される可能性や個人情報情報の取り扱いなど慎重な対応が求められる。今後は入力してよい情報の範囲や利用方法などを整理し、安全性と利便性の両立を図りながら適切な運用体制を整えていく。

江口 学校教育におけるAIの活用は。

副町長 AIは利用する際の知識や判断力が必要。現段階では中学3年生に限定し、授業の中で教師

健康福祉部長 通帳、マ

AIとは
「アーティフィシアル・インテリジェンス」の略で、日本語では「人工知能」



R8.03定例会一般質問(鈴木議員)



R8.03定例会一般質問(江口議員)

一般質問

部活動の今後のあり方は

本町の考えは

教育長 地域の皆様に参加を呼び掛けたい



しゃもと よ ひち
社本 與七 議員

社本 今後の休日の部活動は。

生涯教育部長 私たちが経験してきた休日の部活動は、廃止されると受け取ってもらった方が良いのではないかと考えている。

社本 本町の部活動の地域移行・地域連携の進捗状況は。

生涯教育部長 現段階では、協議会を設置して検討・決定する段階にまでは至っていない。

学校教育課職員と中学校職員で何度か話し合う場を設け、現状把握を踏まえて、今後に向けた方針や地域クラブ活動実現に向けた課題を検討し始めたところである。

なお、近隣市町においては既に具体的な取り組みが始まっており、その状況や部活動改革に関する研修会へ参加したりして、検討資料の収集は進めている。

社本 今後の部活動のあり方について、本町の考えは。

教育長 本町では、部活動が子どもたちの成長にどう寄与してきたのかを検証し、それを子どもたちにも、継続可能な仕組みとしてどう残せるのかを検討することが最重要と位置付けてきた結果、周辺市町に比べ、部活動の地域展開の実現は大きく遅れているのが現状である。

保護者、地域、自治体



しゃもと よ ひち
社本 與七 議員

等の皆様が、子どもたちの成長に寄与する、スポーツ、文化活動を提供する当事者となることを受け止めることから始めなければならぬ。

そして子どもたちに、文武両道、学業、スポーツや文化活動、いろいろな体験を可能とする場の提供を目指し、地域の皆様に参加を呼び掛けたいと考えている。

町長 行政だけでは部活動の受け皿を作ることはできない。皆様の協力を願いたい。

YouTube
動画



R8.03定例会一般質問(社本議員)

一般質問

授乳と搾乳の環境整備を

搾乳利用の理解促進の考えは

部長 搾乳マーク設置と啓発



さ な こ
佐名 かよ子 議員

佐名 赤ちゃんを連れていない母親が、搾乳を目的に授乳室を利用することについて、周囲の理解をどのように促進していくのか。

案を受け、搾乳マークを設置した。今後も社会的理解と環境整備のため、ホームページ等を活用した啓発を進めていきたい。

健康福祉部長 搾乳のために授乳室を利用される方がつらい思いをしないよう、授乳室は授乳だけでなく、安心して搾乳にも利用できる場所であることを、町として啓発していきたいと考えている。

佐名 授乳室の整備や搾乳に関する案内表示の充実を通じ、子育て世代の外出や社会参加を支える環境づくりについて、今後どのように取り組んでいくのか。

佐名 赤ちゃんを連れていない母親が搾乳のために安心して授乳室を利用できるように、案内表示等の整備をどのように進めていくのか。

健康福祉部長 町内の授乳が可能な公共施設4か所については、議員の提



お気軽にご利用ください

YouTube
動画



R8.03定例会一般質問(佐名議員)

公立小中学校の修学旅行を無償に

少子化対策として、手厚い政策を

部長 2600万円は必要



え ば た み つ よ し
江幡 満世志 議員

江幡 日本教育新聞の「児童・生徒の安全性の確保、修学旅行の実態調査では、1人当たりの旅行費用の平均は、初めて7万円を越えたとのこと。無償にするには、いくらの負担になるのか。」

児童・生徒の安全性の確保や教員の勤務時間、高騰しているバス代や宿泊費、入場料等をふまえて行き先を検討し、学校と意見交換をしていく。

生涯教育部長 現在、小中学校の修学旅行費用の一部600万円ほどは町が負担している、全額無償化には2600万円は必要となる。

江幡 行き先について、児童・生徒の自主性を尊重して計画していると思うが、コロナ禍では松江市の皆さんに大変お世話になった。状況が変わった今、今後の方針は。

生涯教育部長 修学旅行の目的等を再確認し、児



YouTube
動画

R8.03定例会一般質問(江幡議員)

不燃物集積場のあり方は

集積場の管理責任はどこにあるか

部長 町にあると考える



み や が わ も と ひ で
宮川 基英 議員

宮川 本町における不燃物集積場の設置基準は、どうなっているか。

まちづくり部長 集積場の管理責任は、基本的に町にあると考える。

まちづくり部長 不燃物集積場用地に関する方針に基づき、運用を行っている。

主な内容としては、『各地区300世帯程度で一箇所の設置を認める。』『廃棄物の収集は町の責務であり、これを円滑に進めていくため、同方針に合致する集積場用地については、町が買収していくものとする。』などとなっている。

宮川 地域で、新たに集積場の設置を希望する場合、どのように進めていけばよいか。

まちづくり部長 新設の必要性や用地の確保、既存集積場とのすみ分け、人員の配置や駐車スペースの確保といった課題を地域内で検討していただき、地域内での合意形成

が得られた段階で、環境対策室へ相談してもらう。町は、不燃物集積場用地に関する方針に照らし合わせながら地域と協議を重ね、合意形成を得たのち、新たな集積場設置に向けて各種事務を行っていく。

宮川 集積場で備品の購入が必要となったり、事故やトラブルが発生したときの責任の所在はどこにあるか。

まちづくり部長 新設の必要性や用地の確保、既存集積場とのすみ分け、人員の配置や駐車スペースの確保といった課題を地域内で検討していただき、地域内での合意形成



YouTube
動画

R8.03定例会一般質問(宮川議員)

余野区、五差路付近の大雨や集中豪雨の 浸水対策は 齊木一三議員の質問

令和7年度は、余野地区の浸水要因を分析しました。浸水要因として、雨水を取り込む排水桝の能力不足と考えていましたが、調査による雨水管渠の断面確認、計画降雨量の算出、中流量計算等の結果、雨水管渠の流下能力不足が主たる要因であることを確認しました。

回答を受けて

調査結果から主たる要因を特定したことにより、対策の方向性が示されたことは一歩前進。今後は、実現可能な対策について更に検討して進めていただくことを期待します。

質問者の満足度

がんばれ



平常時の防災への取り組みと 避難所運営は 松本佳子議員の質問

被災時のトイレ問題については、「簡易トイレの備蓄」を重点課題として捉え、各地区での防災訓練や役場玄関ロビー、町ホームページ等で啓発を行っています。また、女性のための防災対策として、女性の視点に立った非常用持ち出しグッズの紹介などを町ホームページに掲載しました。

回答を受けて

簡易トイレの備蓄を重点課題として位置づけ、啓発等を含めた適切な対応を施していただいたことは、意義ある前進であり評価しています。今後は、避難所運営を想定した訓練や役割分担の明確化など、平常時からの準備と意識づけをさらに進めていただきたいと思います。

質問者の満足度

さらなる
前進を!



1年前の一般質問 その後を

追跡!!



あれからどうなった?

令和7年3月定例会にて質問

公契約の状況は

山崎卓美議員の質問

「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」の改正もあり、本町側の施策の必要性は増しているものと解します。公契約に対する認識はそのままに、今後も他団体の動向に注視し、調査・研究を継続する中で労働者の労働条件が改善されていくための取り組みをしていきます。

回答を受けて

公契約条例は、県内で愛知県を含む市町村21/55団体がすでに条例制定しています。公契約のもとで働く労働者の賃金水準の適正化や労働条件を守り、公共サービスの質の確保を図ることが町民の安心安全につながり、今後、労務団体等との会議体も一例に、条例制定への推進を期待しています。

質問者の満足度

もっとがんばれ



町民が安心できる 下水道対策は

丹羽勉議員の質問

昨年1月埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受け、本町でも下水道管等の定期点検に加え、腐食原因となりうる硫化水素の測定をしましたが異状はありませんでした。また、災害時における重要施設での上下水道使用を想定した「上下水道耐震化計画」を策定しました。今後、耐震化を進めていきます。

回答を受けて

災害を想定した「上下水道耐震化計画」を策定するとともに、令和8年度において「下水道管路施設総合地震」の対策予算を確保するなど町民の安心安全に寄与していることがうかがわれ期待できます。

質問者の満足度

にっこり





「議員って何かはしてると思うけど、何をしているのかよくわからない」
 そのようなお声をよく聞きます。「何を？」といわれると、一言では説明が難しいですが、その一部をお伝えできればと思います。

①



桜並木健康ジョギング

今年で36回を迎える桜並木健康ジョギングに今年も来賓として参加させていただきました。

②



南児童クラブ棟内覧会

南児童クラブの内覧会が行われました。子どもたちの元気な声が聞こえてきそうな素晴らしい施設が完成しました。

③



小口岩倉線開通式

構想62年、着手から25年の歳月を経て、大口町から各務原市へと続く新しい道が完成しました。

月日	本会議・委員会など	内容(特記事項)	
2月	10日	まちづくり協働フォーラム	参加
	13日	文教福祉常任委員会協議会	
	14日	議会報告会	⇒P.14~15 参照
	15日	大口町地域懇談会	参加
	16日	総務建設常任委員会協議会	
	24日	議会運営委員会	令和8年第1回定例会概要
		全員協議会	
議会広聴広報常任委員会		議会だより248号協議	
3月	2~23日	第1回 定例会	議案審議ほか ⇒P.2~11 参照
	6日	大口中学校卒業式	来賓
	8日	桜並木健康ジョギング	来賓 ①
	11日	南児童クラブ棟内覧会	②
	12日	総務建設常任委員会、協議会	委員会付託議案審議、陳情の審査
	16日	文教福祉常任委員会、協議会	委員会付託議案審議、陳情の審査
	26日	議会運営委員会	令和8年第2回臨時会概要
		全員協議会	
	30日	一般県道小口岩倉線開通式	来賓 ③
	31日	第2回 臨時会	議案審議
4月	2日	議会広聴広報常任委員会	議会だより248号校正
	10日	議会広聴広報常任委員会	議会だより248号校正
	14日	総務建設常任委員会協議会	
	16日	文教福祉常任委員会協議会	
	21日	会派代表者会議	
	22日	総務建設常任委員会意見交換会	丹羽広域事務組合
	27日	議会運営委員会	令和8年第3回臨時会概要
全員協議会			

議会報告会・意見交換会開催の報告

令和7年度大口町議会では、条例で定められた議会報告会に加え、町民との意見交換会を開催しました。



各常任委員会から令和7年度の活動報告

総務建設常任委員会

令和7年度、総務建設常任委員会では「防災力・防犯力向上に向けた調査研究」を活動方針と定め、防犯セミナーを開催しました。防犯セミナーでは、一般社団法人日本防犯学校 会長梅本正行氏をお迎えし、地域の皆様と一緒に講習を受けました。お金のわからない防犯対策としていくつかがご教授をいただき、議員また町民共に有益な情報共有ができたと感じました。また本年4月に「救急講習会&

議会報告会

2月14日(土)
13:30~

文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会では、町民の生活における不安を減らし、健やかに安心して将来を描ける環境づくりを目指し、町民への「人への投資」を観点に活動を進めることとしています。主な活動としては国に対し、給食費無償化にあたり、全額国庫負担を求める意見書の提出を行いました。

また視察では日野市子育て支援センターを訪問し、子育てを所管する部署と教育委員会が一体となり、保幼小中で統一の情報シートを共有して、シームレスに

各ステージでの支援の継続性を高めています。

本視察内容は、本町の子育て施策の推進に大いに参考となるものと感じました。

議会広聴広報常任委員会

議会広聴広報常任委員会では、令和7年度の活動方針を「見える議会」と定め、普段見えにくい議員の動きなどを伝える広報としました。

広報の部分では、当委員会の大きな仕事の一つである「議会だよりおおくち」の作成では、見やすさ、分

かりやすさを統一し、その質を持続できるように、編集方法などをマニュアル化してきました。

また広聴の部分では、町内のイベントにて、町民の皆様よりアンケートをいただき、聞く力を実践いたしました。アンケートでは小学生から90代の方まで、町内外の皆様から300件を超えるお声をいただきました。

私たち議員は、聞く、伝えるをきっかけに、その声を町政へと生かすことが大事だと考えます。



議会報告会の様子

おおぐち アイデア 会議

意見交換会「おおぐちアイデア会議」

広聴「聞く力」の具現へ

意見交換会「おおぐちアイデア会議」は、広く市民の意見やアイデアを聞く機会として開催をしました。

町内外より、25名の参加者が集まり、ワークショップ形式で7つのテーマにつ

いて話し合いが行われました。

- ①公園について
- ②高齢者の交流について
- ③子どもの遊び場について
- ④公共交通機関について
- ⑤大口町のイベントについて
- ⑥図書館とプールについて

⑦「ミニ」について

これらのテーマは大口町で行われた「ふれあいまつり2025」で実施した、議会アンケートの結果から、課題や要望を抽出し、まとめたものです。

各テーブルではそれぞれ様々なアイデアが飛び交い、大口町の課題解決の糸口が見えました。

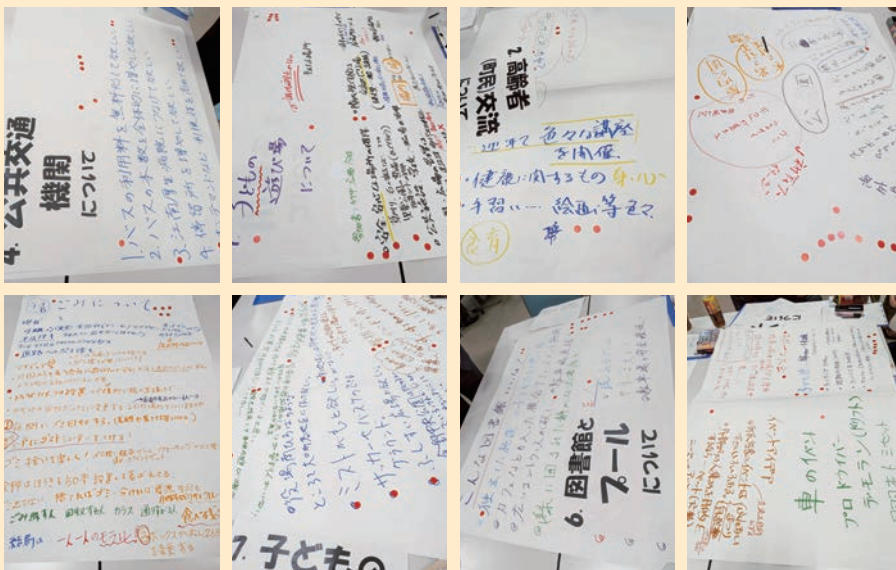


アイデア会議終盤では、各テーブルで話し合われた結果を発表いただきました。それぞれ特色があり、大きな拍手と共に会場全体で共有することができました。



アイデア発表の様子

皆様のアイデア☆



皆様から頂いたご意見やアイデアは、大口町議会議員がそれぞれ一般質問や議案質疑などを通じ、町政へと必ず届けます。多くのご参加ご来場、また大変貴重なご意見をありがとうございました。

今後もこのような取り組みを通じ、私たちの活動や姿勢を直に感じていただき、更に「開かれた議会」を目指してまいります。

大口町議会議員 一同

まちかどインタビュー

～大口町に期待することは?～

まちかどインタビューでは、毎号、住民の方から「大口町に期待すること」について、その思い（または理由）を伺います。その内容については、住民の声として今後の議会活動の参考にいたします。



古くから地域に伝わる伝統芸能。この財産を後世に引き継ぐために、町からも働きかけてほしいと思います。

(中小口獅子保存会のみなさん)



消防団は、地域の安全を守るやりがいのある仕事です。私たちと一緒に活動してくれる仲間を大募集しています。お気軽にお声かけください!

(大口町消防団中小口分団長 西村さん)

寄付行為の禁止



議員はお金やお酒等の寄付行為は禁止されています。有権者が求めてもいけません。ご理解をお願いいたします。

会議録が閲覧できます

<https://www.town.oguchi.lg.jp/2741.htm>



6月定例会予定

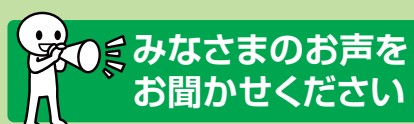
- 6月 1日(月) 開会・提案説明
- 3日(水) 一般質問
- 4日(木) 一般質問
- 8日(月) 議案質疑・委員会付託
- 10日(水) 総務建設常任委員会
- 12日(金) 文教福祉常任委員会
- 18日(木) 討論・採決・閉会

※日程は、変更になる場合があります。

【今月の表紙】

昨年に引き続き、今年も表紙の写真の写真を一般公募いたしました。テーマは「大口町の魅力」。たくさんの応募をいただき、ありがとうございました。委員による選考の結果、中学新1年生(匿名希望)の方が撮影された写真を選ばせていただきました。
 ※写真のタイトル「大口町大好き」
 ※撮影者コメント「戦国時代の舞台でもある小口城(城址公園)からは、歴史と新しさが合わさった大口町の魅力を感じることができます。そんな大口町が大好きです。」

議長 齊木 三
 副議長 酒井 一
 委員 宮川 基
 委員 飯田 正
 委員 社本 与
 委員 松本 佳
 委員 仙田 英
 委員 藤田 敏
 委員 英平 志



議会だよりをより充実させるためご意見ご感想をお寄せください。
 議会事務局 Email: gikai@town.oguchi.lg.jp
 FAX: 0587-95-1454